



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

24号

平成29年 2月28日発行

～副病院長のあいさつ～



皆様には地域連携にご協力いただき、ありがとうございます。

2017年度も同様によりしくお願い申し上げます。

私は、小林市立病院手術室で、外科、泌尿器科、整形外科の手術の麻酔を担当しています。

小林市立病院で手術を受ける患者さんのほとんどが高齢の方で、同時に種々の合併症をもっておられたり、高齢者特有の栄養障害があったりします。安全で早期の回復のためには、手術対象疾患のみならず、合併症や栄養障害の治療と対策が必要となります。効果的な栄養管理、早期の離床、リハビリテーションが特に重要となっています。

適切な治療・手術のあとの、早期の回復と在宅医療へ向けたものとして、当院の栄養管理部門とリハビリ部門がスタッフの増員とともに充実してきています。

国や県の行政の指導のもと、在宅医療の推進がなされ、入院医療、外来医療で患者さんに切れ目のない診療を提供することが求められています。小林市立病院は地域医療支援病院として、院内の医療内容の充実をはかるとともに、地域の先生方と密接に連携していかなければなりません。

私も、術前、術中、術後管理にかかわることで、地域医療の推進に協力したいと思っています。これからも、ご協力およびご指導をよろしくお願いいたします。

小林市立病院 副院長 窪田 悦二

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



看護部紹介

今回は

3 階 病 棟

です。

3階病棟のデーラウンジからの霧島連山の眺め

癒され、また、勇気をもらう事のできる雄大な眺めです。

今回は3階病棟を紹介させていただきます。当病棟は、主に整形外科、泌尿器科の急性期一般病棟35床と地域包括ケア病床10床の構成になっています。

地域包括ケア病床は、急性期・慢性期医療の提供に加え、地域医療にさらに貢献するため平成28年8月から開設いたしました。この病床は、急性期の治療や緊急時対応の後に病状が安定したところで、自宅や施設へ退院される方を対象に利用して頂いています。「在宅復帰支援計画」を作成し、主治医をはじめ、看護師、リハビリスタッフや医療ソーシャルワーカー等が協力し、患者やご家族のご意向を伺いながら、在宅復帰に向けたご相談や準備をすすめさせていただいています。今後、さらに地域医療の充実に向けて、他医療機関や訪問看護、介護、福祉の専門職との連携を深め、利用者・家族が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

4月新採用者 フレッシュさんの紹介をします！！



山之口 澪那

趣味 バレーボール・ドライブ

ひとこと 入職して10か月経ちますが日々看護の難しさを痛感しています。4月には2年目になるので、それまでに少しでも出来る事が増えるよう日々頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



河村 朋奈

趣味 温泉に行くこと

ひとこと 兵庫県で5年間経験がありますが泌尿器科看護の経験がなく知らない事ばかりです。たくさん勉強していろんな事を吸収し、成長していきたいです。よろしくお願いします。



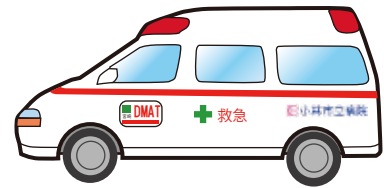
小林市立病院 3階病棟 主任 佐土瀬 さつき

メディカル紹介

今回は

事 務 部

です。



当院は、平成9年3月に地域災害医療センターに指定され、平成25年度に大規模災害時などの多数傷病者への急性期診療支援並びに災害拠点病院の機能強化を目的にDMATを編成しました。

DMATとは、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」で Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとってDMATと呼ばれています。

平成17年1月17日の「阪神・淡路大震災」での教訓を生かし、各行政機関、消防、警察、自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、医師が災害現場で医療を行なう必要性が認識されるようになりました。そうした背景の中、平成17年4月に1人でも多くの命を助けようと厚生労働省により、災害派遣医療チーム日本DMATが発足しました。

DMATは、医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職）で構成され、医師1名、看護師2名、業務調整員1名の4名を基本構成とし、当院では現在、医師2人、看護師5人、業務調整員1人の合計8人がDMATの資格を有しており、宮崎県内13医療機関で26のDMAT（平成28年12月末現在）が、厚生労働省が推奨する医療資機材や衛星電話等を常備して、有事の際に備えています。

当院のDMATが初めて活動したのが、昨年4月に発生した熊本地震でした。発生当日夜中の12時に医師1名、看護師3名、業務調整員1名の5名が救急車で出動し、地震の影響でうねった高速道路を走行し、参集拠点である熊本赤十字病院に到着後、指示のあった倒壊の恐れのある病院の患者避難の支援等を行いました。

今後も、災害はいつ、どこで発生するか分かりません。DMAT隊員として資格更新要件である技能維持研修や実働訓練、更に県の防災訓練等に参加しながら災害に備えた体制整備に取り組んでいきたいと考えています。



小林市立病院 DMAT 業務調整員 武田 慎一（事務部 経営企画係長）

症 例 検 討 会

平成29年1月23日（月）に「第24回症例検討会」を当院2階大会議室にて開催しました。今回は、院内の発表のみでしたが、大勢の方々にもお越し頂き、大変充実した会となりました。ありがとうございました。

第24回症例検討会

日 時：平成29年1月23日（月）18時30分～ 参加人数 90名
座 長：小林市立病院 院長 徳田 浩喜



診断、治療に難渋した腎腫瘍の1例

小林市立病院 泌尿器科
森 勝久



退院支援の現状と今後の視点

小林市立病院
回復期リハビリテーション病棟
竹内 かおり



当院の透析患者の下肢末梢動脈疾患
に対する取り組み

小林市立病院 臨床工学室
村田 淳一



ビスフォスフォネート製剤（BP製剤）の
長期使用により両側に非定型大腿骨骨折を
生じた一例

小林市立病院 整形外科
増田 裕介



献立紹介

3月 行事食
ひなまつり



春の食材『菜の花』のかき揚げ

○材料（2人分）

- 菜の花：80g
- 舞茸：30g
- 玉葱：50g
- 天ぷら粉：大さじ2

(A) 天ぷら粉：1/3カップ
冷水：1/3カップ

○作り方

1. 菜の花は2cmの長さに切り、舞茸は小さくほぐし、玉葱は5mm幅に切る。
2. 1に天ぷら粉を混ぜる。
3. (A)を混ぜ合わせて2に加え、ざっくりと混ぜる。
4. 中温（170℃前後）に熱した油の中に3を適当な大きさにして入れる。
5. 2～3分したら裏返し、さらに1～2分揚げる。



～ひなまつりのルーツ～

本来は穢れ（けがれ）を祓う（はらう）季節の行事

ひなまつりは女の子のための行事です。女兒の初節句にはひな人形を用意し、健やかな成長と幸せを願いながら祝います。

日本では平安時代を起源とする「五節句」という行事があり、季節の節目に身の穢れを祓い、健康長寿や厄除けを願う風習がありました。



今回のお花

小林華道連盟より
毎週すばらしいお花をいただいております。



地域医療連携室からのお知らせ

症例検討会のご案内

第25回症例検討会を下記の日程で開催する運びとなりました。皆様には、何かとお忙しい時期ではあると思いますが、スケジュール調整のうえ、多数のご参加をお待ちしております。

日時 平成29年4月24日（月） 18時30分～

場所 小林市立病院 2階大会議室

演題応募も受け付けております！！たくさんのご応募お待ちしております。

演題締切 4月3日（月） 抄録締切 4月10日（月）

※演題申込はFAXにて受け付けています。また、メールでも応募可能です。

応募方法などご不明な点がございましたら、地域医療連携室までお問い合わせ下さい。

循環器内科診療開始のお知らせ

平成29年4月3日から新たに循環器内科の診療が始まります。受診に関しては、完全予約制となります。ご不明な点などございましたら地域医療連携室までお問い合わせ下さい。

診療日 平成29年4月3日（月）から毎週月曜日

診療時間 午前9時～午後5時まで

担当医 鹿児島大学病院 心臓血管・高血圧内科学 市来 仁志 先生

おしらせ！



**ご予約の際は診察予約申込書にご記入いただき、FAX
もしくはTELで下記の地域医療連携室までご連絡お願い
いたします。**

連絡先

小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225（直通）

FAX 0984-23-8226

Mail k_hosp5@city.kobayashi.lg.jp

編集後記

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。インフルエンザも気になる季節、流行にのり我が家の長女も先日発症しました。しかし、回復の早さにびっくりさせられました。そんな長女も今年は中学生になります。これからの娘達の成長が楽しみです。私も退院支援に携わること10ヶ月です。娘達と一緒に学び成長できたらと思っています。今年度も残り2ヶ月を切りました。1日1日を大切に今月もおもいきり楽しんでいきたいと思っています。

退院調整看護師 竹内 加代